守恒小だより

発行者　北九州市立守恒小学校
校長　新森　修二

２学期、がんばっていきましょう。

２学期が始まり、しっかりと日焼けした子ども達が元気に登校してきました。始業式では、教頭先生から２つのお話がありました。

一つめは「節目の大切さ」についてでした。「人はこの節目で大きく成長します。これからどんな自分になりたいかめあてをたてたり、２学期末までにどうなっていたいか真剣に考えたりしてください。」と言われました。

二つめは校舎がきれいになったことについてでした。前回の学校だよりでお知らせしたように、５・６年生の教室が夏休みの間にきれいになりました。黒板がスライド式になったり、天井や壁、棚、電灯などがきれいになったりしています。教頭先生は、「感謝の気持ちをもつことが大切だ」と言われました。設計をする人、荷物をまとめたり、運んだりする人、工事をする人など、本当に多くの方が夏休みの間に作業をしてくださいました。「そのことに気付き、感謝の気持ちをもつようにしましょう。」とお話をしてくださいました。

さあ２学期、みんなで笑顔あふれる守恒小学校にしていきましょう。

英語村を体験しました。

本年度、北九州市では、３～６年生を対象に英語村体験学習を実施しています。英語村体験学習では、八幡東区にある「KITAKYUSHU GLOBAL GATEWAY（愛称北九州英語村）」で英語を使いながら様々な場面を体験します。ＴＶ放送、レストラン、お店、ホテル、飛行機の中などが用意されています。「いきなり英語で？」と思ってしまいますが、グループに一人ずつ先生がついてくださいます。そして、どの場面でもその先生が上手に対応してくれるので、安心して活動することができました。子ども達は、外国語活動や外国語科で学習しているため、それほど抵抗なく話す体験を楽しむことができていました。ここで改めて、子ども達のコミュニケーション能力育成の大切さを感じました。早い時期から様々な体験をさせることが子ども達の成長につながります。学校でも、体験やコミュニケーション能力育成の場面について考えていきたいと思います。

子ども達も「英語が難しかったけど、外国の人と話せて楽しかったです。」「英語の先生が面白くて、外国語がもっと好きになりそうです。」などの感想をもっていました。